



## 平成27年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年4月10日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社ドミー

コード番号 9924 URL <http://www.domy.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 梶川 勇次

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 小田 泰也

TEL 0564-25-1121

四半期報告書提出予定日 平成27年4月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年5月期第3四半期の連結業績(平成26年6月1日～平成27年2月28日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第3四半期	25,299	△0.1	183	102.7	208	70.5	92	—
26年5月期第3四半期	25,326	0.8	90	△50.0	122	△39.2	5	△94.3

(注) 包括利益 27年5月期第3四半期 138百万円 (565.8%) 26年5月期第3四半期 20百万円 (△87.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第3四半期	6.83	—
26年5月期第3四半期	0.44	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年5月期第3四半期	19,570	3,049	15.5	225.34
26年5月期	19,056	3,022	15.8	223.29

(参考) 自己資本 27年5月期第3四半期 3,049百万円 26年5月期 3,022百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年5月期	—	5.00	—	5.00	10.00
27年5月期	—	5.00	—	—	—
27年5月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年5月期の連結業績予想(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,667	2.4	309	30.2	297	10.8	160	102.5	11.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年5月期3Q	13,774,249 株	26年5月期	13,774,249 株
② 期末自己株式数	27年5月期3Q	239,722 株	26年5月期	237,418 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年5月期3Q	13,535,990 株	26年5月期3Q	13,538,296 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に対する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3.「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日本銀行による積極的な金融経済政策により、緩やかな景気回復傾向にあるものの、円安による原材料価格の上昇や電気料金の値上げ及び消費増税による消費の停滞など、経済環境は不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、消費増税による消費者の節約志向、さらに業態を超えた競争の激化により、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループといたしましては、食品を中心に地域に密着したスーパーマーケットとして、お客様からの強い信頼をいただけるよう、安全で安心な商品の提供を第一に取り組みとともに、競合他社との差別化をはかることを目的に、積極的な店舗改装及び出店を実施してまいりました。また、「お客様へのおもてなし」を接客対応の重点目標として取り組み、これまで以上に顧客創造に邁進してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は252億99百万円（前年同四半期比0.1%減）、営業利益は1億83百万円（前年同四半期比102.7%増）、経常利益は2億8百万円（前年同四半期比70.5%増）、四半期純利益は92百万円（前年同四半期は5百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## (流通事業)

流通事業におきましては、営業企画では恒例となりました「木曜特売市」「日曜新鮮特売市」生鮮食品中心の「生鮮ジャンボ市」の充実をはかるとともに、お客様のお好きな商品を割引く「生活応援割引券」を配付する特別企画を継続し好評を得ております。商品政策では、岡崎食品加工センターを活用することにより、新鮮かつ安全で安心な商品を提供すると同時に、生産性の向上と作業の効率化をはかることにより、価格面でも他社と比較して優位性を十分に発揮できるよう努力してまいりました。また特色のある「こだわり商品」の展開に力を入れ、お客様のニーズに対応した戦略を推し進めてまいりました。さらに、寿司・惣菜部門を担当するドミーデリカにおきましては、店舗改装時に売場拡大するとともに新商品の開発や味と品質の向上により、店舗全体の集客力向上に努めてまいりました。

店舗の状況につきましては、平成26年6月に三谷店、同年9月には大樹寺店の改装を実施いたしました。また、平成26年12月に岩津店（岡崎市）を開設いたしました。

以上の結果、流通事業の営業収益は252億64百万円（前年同四半期比0.1%減）、営業利益は1億51百万円（前年同四半期比148.1%増）となりました。

## (サービス事業)

サービス事業におきましては、清掃業、保守業及び駐車場等の施設警備業を営んでおり、効率的な店舗の清掃業務及び店舗設備の保守業務、駐車場等の警備業務に努めてまいりました。

以上の結果、サービス事業の営業収益は35百万円（前年同四半期比3.9%減）、営業利益は29百万円（前年同四半期比9.8%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

流動資産は、前連結会計年度末に比べ5億93百万円減少し、41億79百万円となりました。これは主に、現金及び預金4億64百万円、受取手形及び売掛金40百万円、商品26百万円の減少によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ11億10百万円増加し、153億81百万円となりました。これは主に、建物及び構築物5億80百万円、無形固定資産1億6百万円の増加によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ5億13百万円増加し、195億70百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ47百万円減少し、100億5百万円となりました。これは主に、短期借入金1億16百万円増加したものの、支払手形及び買掛金3億3百万円、引当金1億7百万円の減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ5億33百万円増加し、65億15百万円となりました。これは主に、社債が4億17百万円減少したものの、長期借入金7億61百万円の増加によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ4億86百万円増加し、165億20百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ27百万円増加し、30億49百万円となり、自己資本比率は15.5%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績につきましては、平成26年7月11日決算発表時の連結業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当第3四半期連結累計期間  
(自平成26年6月1日至平成27年2月28日)

## (会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が38,552千円減少し、利益剰余金が25,082千円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,639,405	2,175,335
受取手形及び売掛金	196,872	156,642
商品	1,252,340	1,225,796
貯蔵品	21,980	22,456
その他	662,371	599,420
流動資産合計	4,772,970	4,179,651
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,653,896	5,234,521
土地	4,242,228	4,203,177
その他(純額)	995,261	959,764
有形固定資産合計	9,891,386	10,397,462
無形固定資産	678,851	785,839
投資その他の資産		
差入保証金	1,919,222	1,861,186
その他	1,781,180	2,336,767
投資その他の資産合計	3,700,402	4,197,953
固定資産合計	14,270,640	15,381,256
繰延資産	13,114	9,455
資産合計	19,056,725	19,570,362
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,339,515	3,035,809
短期借入金	4,150,000	4,266,000
未払法人税等	28,538	9,656
引当金	216,481	108,754
その他	2,317,875	2,584,788
流動負債合計	10,052,410	10,005,008
固定負債		
社債	1,014,550	596,740
長期借入金	3,016,924	3,778,578
退職給付に係る負債	661,144	641,687
資産除去債務	231,099	252,390
その他	1,057,902	1,246,058
固定負債合計	5,981,620	6,515,454
負債合計	16,034,031	16,520,463

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年2月28日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	841,545	841,545
資本剰余金	790,395	790,395
利益剰余金	1,518,471	1,500,694
自己株式	△115,630	△116,785
株主資本合計	3,034,781	3,015,848
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,077	51,432
繰延ヘッジ損益	△2,970	△1,342
退職給付に係る調整累計額	△20,194	△16,039
その他の包括利益累計額合計	△12,087	34,050
純資産合計	3,022,694	3,049,899
負債純資産合計	19,056,725	19,570,362

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)
売上高	24,597,573	24,555,240
売上原価	18,237,199	18,022,385
売上総利益	6,360,374	6,532,855
営業収入	728,760	744,487
営業総利益	7,089,135	7,277,343
販売費及び一般管理費	6,998,721	7,094,079
営業利益	90,413	183,264
営業外収益		
受取利息	9,190	9,304
受取配当金	11,411	9,589
持分法による投資利益	18,780	17,419
その他	103,597	91,161
営業外収益合計	142,979	127,474
営業外費用		
支払利息	88,827	82,259
その他	22,338	20,136
営業外費用合計	111,166	102,396
経常利益	122,226	208,342
特別利益		
投資有価証券売却益	-	299
特別利益合計	-	299
特別損失		
固定資産除売却損	74,189	48,407
減損損失	21,830	-
その他	-	3,000
特別損失合計	96,019	51,407
税金等調整前四半期純利益	26,206	157,234
法人税、住民税及び事業税	46,440	44,680
法人税等調整額	△26,203	20,053
法人税等合計	20,236	64,733
少数株主損益調整前四半期純利益	5,969	92,501
四半期純利益	5,969	92,501



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,969	92,501
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,176	40,355
繰延ヘッジ損益	1,674	1,627
退職給付に係る調整額	-	4,154
その他の包括利益合計	14,851	46,137
四半期包括利益	20,821	138,639
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,821	138,639
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成26年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	流通事業	サービス事業	合計
営業収益			
外部顧客への営業収益	25,289,674	36,660	25,326,334
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	485	183,493	183,979
計	25,290,160	220,154	25,510,314
セグメント利益	61,004	26,854	87,859

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	87,859
セグメント間取引消去	2,554
四半期連結損益計算書の営業利益	90,413

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成 26年6月1日 至 平成 27年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	流通事業	サービス事業	合計
営業収益			
外部顧客への営業収益	25,264,515	35,212	25,299,728
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	510	196,132	196,643
計	25,265,026	231,345	25,496,371
セグメント利益	151,360	29,490	180,851

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	180,851
セグメント間取引消去	2,412
四半期連結損益計算書の営業利益	183,264

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に変更しております。

当該変更による当第3四半期連結累計期間のセグメント利益への影響は軽微であります。